

令和4年度 学校評価（あきた型）シート
「秋田西高等学校」

①

評価領域	特別活動部
------	-------

目標の設定（Plan）

②

重点目標	学校における集団活動を通して秋田西高校生としての自覚を持ち社会の一員として自立ができるような能力を養う。
------	--

③

現 状	コロナ禍3年目となり、コロナ時代の行事のやり方が確立してきた。また、去年、一昨年と中止されていた行事を開催できるようになった。。
-----	--

④

⑤

具体的な目標	西高祭、スポーツ大会、運動会などを感染症対策を行いつつ実施し、生徒に多くの集団活動の機会を提供する。
--------	--

目標達成のための方策	生徒会執行部、各委員会を中心とした西高祭などの行事の企画立案。
------------	---------------------------------

実践（Do）

⑥

具体的な取組状況	各行事への取り組み
----------	-----------

⑦

達成状況	各行事の規模が徐々にコロナ禍以前に戻りつつある。
------	--------------------------

自己評価（Check）

評価基準	A：具体的な活動が示され目標を達成できた。 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。 C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。
------	---

⑧

自己評価	評価	根 拠
	A	各行事でその都度、できる限りの取り組みを行った。

⑨

学校関係者評価と意見	評価	意 見
	A	今の高校生はコロナの影響で思うように活動ができずストレスを抱えている。学校行事や部活動も伝統が途絶えた世代なので経験が少ない。現状維持も大切だが、長期目標も掲げて欲しい。

改善した実践（Action）

⑩

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	長期的目標として社会の変化に対応していく力を身につける場を提供していきたい。そのために新たな伝統を生徒主体でつくり上げたい。
-----------------------	--